

印西市交通安全対策会議

期日：令和5年5月18日（木）

10時30分～

場所：印西市役所 大会議室

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議事
議案第1号 令和4年度印西市交通安全業務報告について
議案第2号 令和5年度印西市交通安全業務計画（案）について
- 4 その他
- 5 閉会

【出席委員】

会 長 板倉 正直
1号委員 原田 友子
2号委員 伊東 誠
2号委員 押田 龍太郎
2号委員 伊能 敬之
2号委員 宮下 直也
4号委員 山下 浩一
5号委員 長澤 隆壽
5号委員 中嶋 隆雄
5号委員 鈴木 秀昭
5号委員 田口 光浩
5号委員 青木 恵巳子
5号委員 岡本 一弘
5号委員 藤崎 博一

【出席職員】

市民部部长 米井 雅俊
市民安全担当課長 高橋 幹人
市民活動推進課 小川 敏博
市民活動推進課 小原 健宏

【欠席委員】

3号委員 大木 弘

《議事録》（要点筆記）

（高橋担当課長）

それでは、定刻となりましたので、「印西市交通安全対策会議」を始めさせていただきます。なお、本日、大木委員におかれましては、所用によりご欠席となっておりますので、ご報告します。

ここで板倉市長よりご挨拶を申し上げます。

（板倉市長）

皆様おはようございます、印西市長の板倉正直でございます。

本日は大変お忙しい中、印西市交通安全対策会議にご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。

また、皆様におかれましては、日頃より市の交通安全対策に関してご尽力頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、当市では、住宅の建築や物流の拠点施設などをはじめとする企業立地が進み、人口及び交通量の増加が一層見込まれる状況にあります。このような中、当市における交通人身事故の発生件数は、昨年の同時期と比較して、増加傾向にあると伺っております。

また、交通事故死は、本年もすでに1名の尊い命が、悲惨な交通事故により失われているとのことでございます。市民の安全で安心な生活を守るためにも、交通安全対策は関係機関が一体となって取り組むべき、喫緊の課題であると考えております。

つきましては、委員の皆様には、本市における交通事故を防止するための効果的な対策を検討していただき、それぞれの見地から貴重なご意見をいただきながら、交通安全対策事業を推進して参りたいと考えております。

結びに、本会議が有意義なものになりますことと、委員の皆様の今後ますますのご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げまして、私からの挨拶にさせていただきます。皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。

(高橋担当課長)

つづきまして議事に入らせていただきます。

なお、議長につきましては、印西市交通安全対策会議条例第3条第3項の規定により、会長である板倉市長にお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

(議長)

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。

はじめに、本会議の会議録の署名者を指名させていただきます。原田友子委員、中嶋隆雄委員のお二人にお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

本会議について、傍聴の申し出はございません。

それでは、次第3議事に移ります。議案第1号令和4年度印西市交通安全業務報告についてと議案第2号令和5年度印西市交通安全業務計画(案)については、関連がございますので、一括議題とします。事務局の説明を求めます。

(事務局)

議案第1号 令和4年度印西市交通安全業務報告について、ご説明いたします。

お手元の資料「令和5年度印西市交通安全対策会議資料」の1ページをご覧ください。

(1) 議案第1号 令和4年度印西市交通安全業務報告について

1. 幼児・児童・生徒に対する交通安全教育

「①幼稚園、保育園に対する交通安全教育の推進」につきましては、幼稚園4回・保育園23回併せて27回の交通安全教室を実施いたしました。内容といたしましては、DVDの視聴、道路を渡るときの3つの約束、模擬信号を使った道路の歩き方等の内容で、6月から7月、12月から3月にかけて、合計791人の園児に対し、実施いたしました。日程および、各参加人数につきましては、資料のとおりでございます。

2ページをご覧ください。

「②小中学校に対する交通安全教育の推進」につきましては、小学校17回・中学校7回併せて24回の交通安全教室を実施いたしました。小学校については、DVDの視聴、歩行・横断練習、自転車点検

のしかた、自転車の乗り方等の内容で、中学校については、DVDの視聴、自転車安全利用五則の周知・徹底、自転車の点検の仕方、乗り方等の内容で、4月から5月にかけて、合計3,851人の児童、生徒に対して、実施いたしました。日程および、各参加人数につきましては、資料のとおりでございます。

なお、小林・船穂・木刈中学校におきましては、10月から1月にかけて、生徒1,157人に対して、スタントマンを使った交通事故を再現するスケアードストレイトを実施しております。

3ページをご覧ください。

2. 高齢者に対する交通安全教育につきましては、高齢者交通安全教室を12月から2月にかけて、6回、合計104人の方に対して、実施いたしました。内容といたしましては、印西警察署交通課による講話及びDVDの視聴、啓発物資の配布等を行いました。日程および、各参加人数につきましては、資料のとおりでございます。

また、印西警察署主催による実技的講習としまして、12月に印西中央自動車学校でシニアナイトスクールを実施しております。

3. 交通安全教育の指導者の育成につきましては、交通指導員の研修として、7月28日(金)に青葉の森芸術文化ホールで開催されました「幼児交通安全教育セミナー」に参加いたしました。

また、8月26日(金)に印西市文化ホールにて「小中学校向け交通安全教室研修会」を開催いたしました。

4. 街頭啓発及び交通安全施設設置等につきましては、①飲酒運転の根絶につきましては、年末年始特別警戒出動式時に1回、飲酒運転抑止の街頭啓発1回、街頭啓発を実施いたしました。

②シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底につきましては、シートベルト・チャイルドシート着用強化月間中に1回、「毎月10日の交通安全の日」のアクション10において3回、街頭啓発を実施いたしました。

4ページをご覧ください。

③自転車の安全利用の推進につきましては、自転車安全利用の街頭啓発を4回、放置自転車クリーンキャンペーンの街頭啓発を2回実施いたしました。

④反射材の普及促進につきましては、秋の全国交通安全運動出動式時に1回、反射材の配布を行いました。

⑤その他の交通安全啓発といたしまして、夏の交通安全運動期間中に1回、冬の交通安全運動期間中に1回、街頭啓発を実施しております。

⑥主な交通安全施設の整備内容としまして、路側帯へのポストフレックス・ポストコーンの設置につきましては、県道市川印西線の原山地先の多々羅田トンネル、国道356号の木下地先の木下2丁目付近に設置されました。

路面標示につきましては、県道八千代宗像線の岩戸・吉田地先、国道464号東の原地先及び千葉NT南環状線武西地先に設置されました。

また、フェンス・ガードレールの復旧につきましては、国道464号の千葉NT中央駅付近及び県道市川印西線の浦部せんべい付近にそれぞれ設置していただいております。

つづきまして、1ページ飛びまして、6ページをご覧ください。

交通事故の現状でございますが、市内における過去5年の交通事故の状況について、平成30年が発生件数251件、負傷者数293人、死者数6人と最も多い状況でしたが、翌年以降は発生件数及び負傷者数は減少傾向、死者数につきましては、増減を繰り返しております。

令和4年は、死者数1人(対前年比2人の減)と減少したものの、発生件数218件(対前年比44

件の増)、負傷者数273人(対前年比55人の増)と増加しました。

7ページ以降、交通事故の月別発生状況、交通死亡事故、あるいは、交通人身事故のそれぞれの原因者年齢層別発生状況、類型別発生状況、路線別発生状況、時間帯発生状況を参考までに掲載させていただいております。

9ページをご覧ください。

ウ 交通人身事故の特徴 a 原因者年齢層別発生状況の特徴として、5年間のトータルで65歳以上が286件と最も多く、次いで40歳代の170件、50歳代の151件となっております。

以上、議案第1号 令和4年度交通安全業務報告について説明を終わります。

戻りまして5ページをご覧ください。

議案第2号 令和5年度印西市交通安全業務計画(案)について、ご説明いたします。

4月から5月にかけて小・中学校での交通安全教室を皮切りに、全国交通安全運動などの啓発活動を中心に実施してまいります。なお、実施時期や内容につきましては、計画(案)のとおりでございます。

以上、議案第2号 令和5年度交通安全業務計画(案)について説明を終わります。

(議長)

事務局の説明が終わりました。議案第1号及び議案第2号について、何かご意見・質問等はありませんか。

(伊能委員)

資料9ページ統計資料、交通人身事故の特徴、原因者年齢層別発生状況で65歳以上の発生件数が最も多いとされていますが、65歳以上として人数がまとめられているので多く見えてしまっていますが、それを考慮したうえでも65歳以上の高齢者が多いのでしょうか。

(伊東委員)

事故統計は警察の仕事ですので、私からお答えいたします。65歳以上の高齢者のくくりで統計を取っていますが、被害者でなく原因者での統計となっております。当然30代から50代の免許所持者のほうが高齢者より多いわけですが、免許証の返納をされている方も多いので、運転する機会も減ってきます。運転者の割合からすると免許証を返納しているにも関わらずこれだけの人が事故を起している事を考えていただければと思います。

(議長)

事務局の説明が終わりました。よろしいですか。

(伊能委員)

はい。

(議長)

他に質問等はありませんか。

(青木委員)

高齢者に関連しまして、市内居住の75歳以上を対象に実施している、後付けで設置するペダル踏み間違い等による急発進抑制装置の購入・設置に対する補助金制度の令和4年度の交付の実績があれば教えてください。

(事務局)

令和4年度の補助金交付実績につきましては、交付件数2件、交付金額合計30,000円となります。

(議長)

事務局の説明が終わりました。よろしいですか。

(青木委員)

はい

(議長)

他にご意見・質問等はありませんか。

【意見・質問等なし】

それでは、議案第1号令和4年度印西市交通安全業務報告について異議ありませんか。

【異議なし】

異議なしと認めます。

つづきまして、議案第2号令和5年度印西市交通安全業務計画案について異議ありませんか。

【異議なし】

異議なしと認めます。

以上をもちまして、議事はすべて終了いたしました。これで、議長の任をおろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(高橋担当課長)

その他としまして、事務局よりご報告します。

(事務局)

配布させていただいております資料の第二次印西市自転車安全総合推進計画目標の検証について、ご覧願います。市では、平成30年度に、計画期間を5年間とする第二次印西市自転車安全総合推進計画を策定しておりまして、以降、進行管理を行っております。計画の策定にあたり設けられた「自転車交通事故件数の削減」、「自転車交通事故による死者数の削減」、「交通安全教室参加者数の増加」及び「放置自転車数の削減」の4項目の中の「自転車交通事故件数の削減」及び「交通安全教室参加者数の増加」につきましては、令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止等により、目標値を達成することができませんでした。今後は、平常時における結果を踏まえ、引き続き検証していきたいと考えております。

なお、目標値につきましては、5年間の平均値としているため、計画満了時に目標が達成できるよう、今後も引き続き施策を実施してまいりたいと考えております。

(高橋担当課長)

その他につきまして委員の皆様から何かございますか。

(鈴木委員)

自転車事故が減っていない状況ですが、具体的に今後施策を検討するとのことですが、何か考えている事はありますか。

(事務局)

自転車の安全利用につきましては、ご承知の通り今年の4月1日より道路交通法の一部改正により、ヘルメットの着用が努力義務化されました。市といたしましては、自転車利用者すべての方にヘルメットを着用していただいて、交通事故等にあった時も怪我を軽減できる対策を講じていかなければならないと考えているところでございます。

そこでどのようにヘルメットを装着してもらえるのか、その1つとしてある自治体では、ヘルメット購入に関して補助金制度を設けてヘルメットの装着を推進している自治体もございます。現在、補助金制度を設けている自治体の調査や補助金制度にどのような効果があるのか調査、研究を進めているところでございます。

しかしながら、補助金を交付しヘルメットを購入していただいても、ヘルメットを装着していただければ補助金の意味もありませんので、そういったところをどうするのか、市といたしましては、当面ヘルメット着用の重要性を市民の方の意識向上に警察、関係機関と連携しながら街頭啓発活動、キャンペーン等の実施に重点を置き進めているところでございます。

(高橋担当課長)

その他何かございますか。

【意見・質問等なし】

事務局から連絡事項がございます。

当市では、今年度、「第二次印西市自転車安全総合推進計画」の改定を予定しておりまして、委員の皆様にご審議いただきたいと考えております。

なお、会議の開催日等につきましては、準備が整い次第、ご連絡申し上げますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、印西市交通安全対策会議を終了させていただきます。長時間、ありがとうございました。

《使用した資料》

- 1 会議次第
- 2 委員名簿
- 3 会議資料

印西市交通安全対策会議の会議録は、事実と相違ないのでこれを承認する。

令和5年5月25日

印西市交通安全対策会議

署名委員 原田 知子

署名委員 中嶋 隆雄